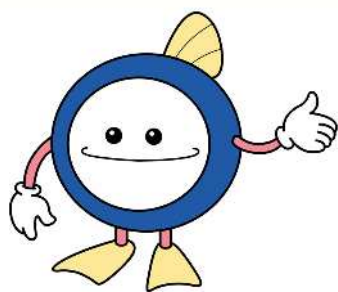


上下水道料金スマホを 使ってみみんなhappy

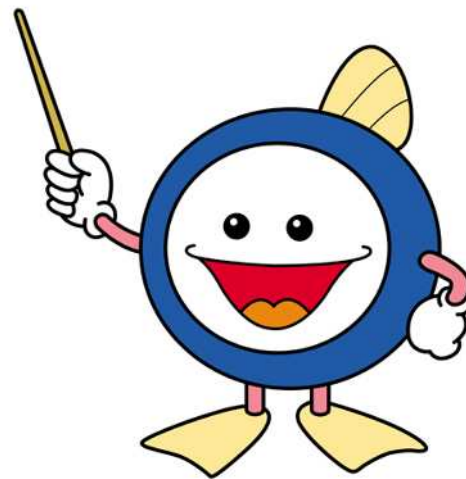
令和3年度下水道場 Bグループ



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

目次

- 1 現状の課題・問題点
- 2 解決策
- 3 付加価値
- 4 まとめ



1 現状の課題・問題点

<職員>

- ▶ 上下水道料金を徴収するために、大量の納付書を印刷・発送している。
- ▶ 検針員が各メーターを現地で検針している。
- ▶ 検針員のメーター読み間違い、名義の取違いによる誤徴収がある。

1 現状の課題・問題点

<利用者>

- ▶ 利用者が納付書で支払うためには、銀行等に出向く必要がある。
- ▶ 紛失等により、納付書を再発行した際、2重払いになる可能性がある。
- ▶ 1日の水道使用量の変化が確認できず、漏水に気づくのに時間を要する。



2 解決策

- ▶ スマートメーターの推進。
- ▶ 支払方法に電子決済の追加。

【参考】スマートメーターとは

- ▶ 1時間毎に1リットル単位の検針
- ▶ 随時検針可能
- ▶ データの通信(マルチホップ、1:N方式、PLCなど)
- ▶ 双方向通信

～引用・公益財団法人水道技術研究センター第6回スマートメーター勉強会～

～メーター写真・愛知時計電機株式会社～



3 付加価値

- ▶ 使用する時間帯に応じた料金体系の設定が可能となる。
- ▶ 水道を使用した履歴が離れた家族に届く、見守りシステムが可能となる。
- ▶ 事務の効率化による維持管理費削減で、料金の値下げ。
- ▶ HEMSとの連携による、省エネの推進。

まとめ

スマートメーター、電子決済が広がることで、h a p p yな未来を構築できる。

【Bグループ考察】

～こんなことも可能では～

- ①現在の上下水道料金が毎日スマホに届く。
- ②一定の金額まで使用すると水道が止まる仕組み。
- ③電子決済と連携した、お得なポイント制度の導入で未納を抑制。

ご清聴ありがとうございました！！

